

甲府市多文化共生推進事業計画実績比較表【平成28年度-令和元年度】

資料13

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	【当初】平成28年度実績			【現在】令和元年度実績			担当課
			具体的な内容等	R元年度事業実績 (R2.3月末見込)	対応言語	具体的な内容等	R元年度事業実績 (R2.3月末見込)	対応言語	
基本目標1 行政情報提供の充実	(1) 保健・福祉・医療	1 国民健康保険等の案内	○国民健康保険制度の周知【情報提供】 外国人被保険者に多言語のチラシを提供し、国民健康保険制度に対する理解を図る。	特に転入時に外国人に対応した多言語チラシを窓口にて配布し、国民健康保険制度の周知を図っている。	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・他	○国民健康保険制度の周知【情報提供】 外国人被保険者に多言語のチラシを提供し、国民健康保険制度に対する理解を図る。	職員はやさしい日本語での対応を心がけるとともに、日本語が理解できない方には、市民課受付係等の外国語を話せる職員との連携を図った。 また、自治体国際化協会が作成したパンフレットは内容が詳細であり、多言語に対応しているため活用した。	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・他	国民健康保険課
			【H30より】 ○外国人が受診しやすい体制を整備し、集団検診への参加を促進する。	7/5、9/26、10/16の3日間、集団検診会場に通訳対応職員を1名配備した。	英・中・韓	○外国人が受診しやすい体制の整備を図る。(詳細は検討中)	通訳対応職員を配置したものの実際に通訳を必要とする外国人はならず、健診自体を知らない外国人が多いことから、引き続き関係部署と連携しながらPR方法の検討を行っている。	英・中・韓	国民健康保険課
		2 介護保険等の案内	○介護保険のしくみ【情報提供】 介護保険証発送時に、多言語による介護保険のしくみについての説明書を同封し、制度の周知をする。	多言語による説明書を用意し、制度の周知をしている。	英・中(簡)・中(繁)・韓・ポ・ス	○介護保険のしくみ【情報提供】 介護保険証発送時に、多言語による介護保険のしくみについての説明書を同封し、制度の周知をする。	23人	英・中(簡)・中(繁)・韓・ポ・ス	介護保険課
		3 甲府市子育てガイドブック等の配布	○子ども相談センター「おひさま」の総合相談窓口において、配布及び情報提供を行う(妊娠、出産、出産費用、医療、健康相談、乳幼児期からの経済的支援、保育所と幼稚園の違いなど)	母子健康手帳の交付時及び窓口相談の際に配布した。	英・中・韓・ポ・ス	○甲府市子育てガイドブック等の配布【情報提供】 妊娠、出産、出産費用、医療、健康相談、乳幼児期からの経済的支援、保育所と幼稚園の違いなどの情報提供を行う。また、相談窓口等の主要部分について、外国語に訳した資料を作成し添付する。	翌年度の翻訳言語について検討を行う。検討に当たっては、国籍別・年齢別の人口統計なども参考にし、同時に各コミュニティの構成員間での情報共有の可能性も考慮して行う。	英(H30年度対応)中(H31年度対応予定)	子ども支援課
		4 母子健康手帳の交付・健康診断や予防接種の問診票の交付	【H29より】※新規事業要望 ○健康相談会の開催 情報活性化モデル地区における健康相談会の開催	情報活性化モデル地区での健康相談会開催には至らなかった。	—	○健康づくり ①情報活性化モデル地区(新田地区)が開催する健康相談会への協力及び支援 ②国民健康保険の集団検診時における通訳者を派遣する。	①モデル地区に関しては、平成30年5月に地区が住民の「見守り」を目的に4団体と協定を締結。その一環として、協定を結んだ診療所に協力してもらい、無料で「青空診療所」を定期実施している。5月19日並びに10月27日に青空診療所取材し、地域におけるモデル活動をホームページに掲載した。 ②国民健康保険の集団検診に通訳者を派遣した。派遣回数3回(6/21、9/19、10/18)	①英・中・韓 ②英・中・韓 音声通訳アプリ(全10言語:英・中・韓・インドネシア・タイ・ベトナム・ミャンマー・ポルトガル・フランス・スペイン)	市民課
			○甲府市民健康ガイドの予防接種ページ案内【情報提供】 外国人住民に英語によるチラシを提供し、正しい予防接種の知識を周知する。	必要に応じて英語によるチラシを渡した。	英	○甲府市民健康ガイドの予防接種ページ案内【情報提供】 外国人住民に英語によるチラシを提供し、正しい予防接種の知識を周知する。	今年度は、中国とインドからの外国人住民の方が多かったが、年間で10人ほどであった。用意している外国語の予防票等で対応ができた。	英	医務感染症課
			○予防接種予診票【情報提供】 外国人住民に多言語による予診票を提供し、適切に予防接種を受けられるようにする。	外国人転入者等に対し、保護者の希望に応じて母国語の予診票を渡した。	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ	○予防接種予診票【情報提供】 外国人住民に多言語による予診票を提供し、適切に予防接種を受けられるようにする。 予防接種の未接種者の把握を行い、訪問や健診の際に保健師が翻訳された資料等を利用してしながら、未接種者への説明、支援を継続していく。	今年度は、中国とインドからの外国人住民の方が多かったが、年間で10人ほどであった。用意している外国語の予防票等で対応ができた。	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・他	医務感染症課
			○母子健康手帳【情報提供】 外国人住民に多言語による母子手帳を提供し、産前産後育児に役立てる。 ※本庁舎 子ども相談センターにおいても交付できる。	外国人妊婦に対し、保護者の希望に応じて母国語の母子健康手帳を渡した。	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・他	○母子健康手帳【情報提供】 外国人住民に多言語による母子健康手帳を提供し、産前産後育児に役立てる。 ※本庁舎 子ども相談センターにおいても交付できる。	多言語による母子健康手帳を提供するとともに、翻訳ソフト「ボイストラ」の配置があり、活用している。	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・ペ・イ	母子保健課
			○乳幼児健診問診票【情報提供】 外国人住民に多言語による問診票を提供し、正しい問診ができるようにする。 ※3ヶ月、1.6歳、2歳児歯科、3歳	外国人妊婦に対し、保護者の希望に応じて母国語の予診票を渡した。	英・中・韓・ポ・ス	○乳幼児健診問診票【情報提供】 外国人住民に多言語による問診票を提供し、正しい問診ができるようにする。 ※3か月、1歳6か月、2歳児歯科、3歳	会場で外国語版問診票による問診を行うことに加え、翻訳ソフト「ボイストラ」の配置があり、活用している。	英・中・韓・ポ・ス	母子保健課

基本 目標	施策	事業名 (具体的な施策)	【当初】平成28年度実績			【現在】令和元年度実績			担当課
			具体的な内容等	R元年度事業実績 (R2.3月末見込)	対応言語	具体的な内容等	R元年度事業実績 (R2.3月末見込)	対応言語	
(2)	学校教育	1 個別教育相談の実施	○児童・生徒、保護者との教育相談 児童・生徒、保護者との母語を話す日本語指導員等を介しての教育相談	3者懇談や家庭訪問、学校生活における指導等において、日本語指導員に通訳を依頼し、相談業務を行った。27件	英・中・韓・ポ・ス・タイ 他	○児童、生徒、保護者との教育相談 児童、生徒、保護者との母語を話す日本語指導員等を介しての学校生活や進学等に関する教育相談	○日本語指導員を活用し、積極的に児童生徒、保護者との教育相談を実施した。特に中学3年生については、受験を控えていたため、学級担任と連携しながら積極的に教育相談を行った。	英・中・韓・ポ・ス・タイ 他	学校教育課
		2 学校からの情報提供	○就学案内のチラシ（文部科学省）【情報提供】 外国人児童生徒のための就学ガイドブックの提供	必要に応じて外国人の就学希望者等に配布した。	英・中・韓・ポ・ス・他	○就学案内のチラシ（文部科学省）【情報提供】 外国人児童生徒のための就学ガイドブックの提供。 その際、必要に応じて山梨子どもネットについても周知。	文部科学省の外国人児童生徒のための就学ガイドブックについては、概要版（文部科学省作成の各国語用）を窓口にて配布。山梨子どもネットについても、必要に応じて周知。	英・中・韓・ポ・ス・他	学事課
			○小中学校入学案内の発送 小中学校に入学する児童等の保護者に入学案内を発送	小中学校の入学手続きの案内文を該当する外国人世帯に発送を行なった。（小学校23件、中学校8件）	英・中（簡）・中（繁）・韓・ポ・ス	○小中学校入学案内の発送 小中学校に入学する児童生徒の保護者に入学案内を送付。	基準日現在で甲府市に住民票を置いている外国籍児童生徒のすべての対象世帯に入学案内を発送。 2020年度新小1：R1.10.1現在 対象22名 2020年度新中1：R1.11.1現在 対象32名	英・中（簡）・中（繁）・韓・ポ・ス	学事課
			○保健調査票等の配付 小中学校に在籍している児童生徒に対して保健関係用紙を配付	定期健康診断の際に配布した。	英・中（簡）・韓・ポ・ス	○保健調査票等の配付 小中学校に在籍している児童生徒に対して保健関係用紙を配付	小中学校に在籍している児童生徒に対して、該当する言語で訳された保健調査票等を配布した。	英・中（簡）・韓・ポ・ス	学事課
3 多文化共生・国際理解教育の推進	○英語指導講師招聘等 姉妹都市であるデモイン市及び県内在住の英語指導講師を市立学校に配置することにより、児童・生徒への生きた英語学習機会を提供する。	児童・生徒へ生きた英語の学習機会を提供するため、デモイン市招聘者3名、現地採用者9名の英語指導講師を市立小中学校及び甲府商業高校へ配置した。	英	○外国語指導助手の招聘等 姉妹都市であるデモイン市及び県内在住の外国語指導助手を市立小・中学校、甲府商業高校へ配置することにより、児童・生徒への生きた英語学習機会を提供する。	○外国語指導助手を活用し、児童生徒への生きた英語教育の充実を図り、国際感覚を身につけた児童生徒を育成に努めた。	英	学校教育課		
4 日本語指導の充実	○児童・生徒への日本語指導 日本語指導センター校配置教諭、母語を話す日本語指導員による日本語指導 ・日本語指導の必要な児童生徒数 82人（H28.4.1現在） ・外国人児童生徒在籍校数 小学校13校、中学校7校 ・日本語指導センター校 小学校4校、中学校1校 加配教員5名、市採用嘱託職員9名 ・対応言語 英・中・韓・ポ・ス・タイ ・週平均25～26時間指導している。	日本語指導が必要な児童・生徒に対し、日本語指導員を配置し、言語指導並びに教育指導を実施した。	英・中・韓・ポ・ス・タイ 他	○児童・生徒への日本語指導 日本語指導センター校配置教諭、母語を話す日本語指導員による日本語指導	○センター校教諭、日本語指導員による日本語指導を通し、日本語の習得はもちろんのこと、日本文化の理解や進学対策など指導を行った。	英・中・韓・ポ・ス・タイ 他	学校教育課		
(3)	防災・安全	1 防災情報の提供	○わが家の防災マニュアル【情報提供】 外国語に対応した「わが家の防災マニュアル」を市民課へ設置。	転入者に外国語版「わが家の防災マニュアル」を配布した。	英・中・韓・ポ・タガログ	○わが家の防災マニュアル【情報提供】 「わが家の防災マニュアル外国語版」を市民課へ設置。（転入者等へ配付）	・配付数 約150部	英・中・韓・ポ・タガログ	防災企画課
			○全国避難所ガイド【情報提供】 外国語に対応したスマートフォンアプリ「全国避難所ガイド」から、甲府市が提供する避難施設等の情報配信。	転入者に配布している外国語版「わが家の防災マニュアル」へ、全国避難所ガイドについて掲載し、利用を推進した。	英・中・韓（2020年までに、10言語対応に拡大予定）	○「アプリ」や「甲府市防災ポータル」など、防災情報を取得できるツールをはじめ、災害への備えや避難行動などを、防災情報を提供する機会を創出し、いざという時の避難行動へ繋がるよう取り組む。【情報提供】	・広報誌やHP内、また防災指導課にて外国人を対象とした防災教室を実施する中で、アプリなどの防災情報伝達ツールを周知している。	ツールについては、英・中・韓	防災企画課
		【H30より】 ○甲府市洪水ハザードマップ英語版を作成し窓口等へ設置	洪水ハザードマップ英語版を作成中、印刷後に設置の見込。	英語	甲府市洪水ハザードマップ中国語・韓国語版を作成する。	昨年度設置（配布）した英語版同様、中国語・韓国語版を作成、印刷を完了する。	英・中・韓	道路河川課	
2 生活安全情報の提供	平成28年度は計画なし 外国人留学生と日本の大学生及び自主防犯ボランティア団体の安全安心合同パトロールの実施	12月6日甲府駅周辺の安全パトロールの実施	なし	外国人留学生と日本の大学生及び自主防犯ボランティア団体の安全安心合同パトロールの実施	同左	なし	危機管理課		
(4)	地域活動・市民生活	1 自治会への理解・加入案内	○自治会加入促進チラシ 外国語に対応した「自治会加入へのお誘い」のチラシを市民課へ設置するとともに、転入者には市民課において配布。	「自治会加入へのお誘い」のチラシを市民課へ配置し、転入者等に配布。	英・中・韓・ポ・ス	○継続した情報の提供 市民課と連携し、やさしい日本語版や外国語版のチラシの配布を通じ、自治会活動への理解や加入促進に努める。	やさしい日本語版や外国語のチラシを配布し、自治会活動への理解や加入促進につとめると共に、「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」にて自治会加入促進について説明を行う。	英・中・韓・ポ・ス	協働推進課
		2 ゴミの出し方の案内	○ごみの出し方【情報提供】 平成29年4月から本市及び峡東3市共同による新ごみ処理施設が稼動することから、「ごみの分け方・出し方」を全面改訂し全戸に配布を行う。併せて外国語版分別冊子も作製し、外国人住民へのごみの正しい出し方の周知を図る。	本市及び峡東3市共同による新ごみ処理施設の稼動に伴い、平成29年3月に全面改訂した「ごみの分け方・出し方」外国語版冊子を作製し、外国人住民への周知を図った。	英・中・韓・ポ・ス・タイ	○ごみの出し方【情報提供】 外国人住民に、全面改訂した多言語による「ごみの分け方・出し方」の冊子を提供し、ごみの正しい出し方の周知を図る。	英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、ベトナム語で作成した「ごみの分け方・出し方」の冊子でごみの正しい出し方の周知を図る。	英・中・韓・ポ・ス・タイ 他	減量課

基本 目標	施策	【当初】平成28年度実績				【現在】令和元年度実績			担当課		
		事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	R元年度事業実績 (R2.3月末見込)	対応言語	具体的な内容等	R元年度事業実績 (R2.3月末見込)	対応言語			
(5)	情報提供・相談	1	生活関連情報の提供	○甲府市外国人生活ガイドブック【情報提供】 甲府市に住む外国人向けに、さまざまな手続きや知識を掲載する。	平成28年度版ガイドブックを作成し、外国人転入者等に配布した。	英・中・韓・ポ・ス	○甲府市外国人生活ガイドブック【情報提供】 甲府市に住む外国人向けに、さまざまな手続きや知識を掲載し、情報提供に努める。	・甲府市外国人生活ガイドブック（6言語）及び「甲府市外国人生活ガイドブック」のQRコード付き多言語版のチラシを外国人相談窓口へ設置している。また、甲府市ホームページへ甲府市外国人生活ガイドブック（6言語）を掲載している。 ・ベトナム語を追加した「ゴミの出し方」のQRコード付き多言語版のチラシを各窓口センターにチラシを設置し、在住している外国人に対して情報提供している。 ・外国人の転入手続きの際に「甲府市外国人生活ガイドブック」（QRコード付き多言語版のチラシ）とベトナム語を追加した「ゴミの出し方」（QRコード付き多言語版のチラシ）、自治会加入へのお誘いチラシ（日・英・ポ・韓・ス・中）を配布している。	英・中・韓・ポ・ス・日	市民課	
		2	やさしい日本語や多言語を用いた行政情報の提供	○多言語対応 40事業 ○やさしい日本語対応 9事業 ※項目の対応言語・やさしい日本語による	—	—	—	○多言語対応 50事業 ○やさしい日本語 24事業 ※項目の対応言語・やさしい日本語による	—	—	各課
		3	ホームページによる行政情報の提供	○ホームページの多言語自動翻訳と多言語音声読み上げ機能 ホームページの自動翻訳を10言語で行う。また、音声読み上げを8言語（日本語除く）で行う。	○ホームページの自動翻訳を10言語で対応。音声読み上げを8言語（日本語除く）で対応。	英・中国（簡）（繁）・韓国・ポルトガル・スペイン・フランス・タイ・ヒンディ・インドネシア語（音声読み上げは、中（繁）・インドネシア語を除く）	○やさしい日本語での対応を的確に翻訳されるよう努める。 ○ホームページの多言語への対応（自動翻訳や音声読み上げ） 市内在住外国人の動向を見ながら、対応できる言語を考えていく。	・ベトナム語の追加により、翻訳対応言語を10言語→11言語になる予定。音声読み上げ対応は、ソフトが対応可能な8言語提供予定。 音声読み上げ対応；翻訳対応言語のうち、中（繁体字）・インドネシアを除く8言語。	翻訳；英・中（簡体字、繁体字）韓国・ポルトガル・スペイン・フランス・イタリア・ヒンディ・インドネシアの10言語。 音声読み上げ対応；翻訳対応言語のうち、中（繁体字）・インドネシアを除く8言語。	シティブロモーション課	
		4	相談窓口の設置	○外国人相談コーナーの設置 ①外国人とその家族等を対象とした日常生活における相談。 ②不就学児童・生徒が発生しないように、教育委員会と連携した調査を行う。	①外国人相談コーナーを設置し、在留関係、戸籍や国民健康保険などの相談を行った。 ※平成29年2月末現在 相談件数 1,708件 (面談1521件、電話187件) ②不就学と思われる児童・生徒(52人)の実態調査を行い、不就学がないことを確認した。	英・中・韓	○外国人相談コーナーの設置 ①外国人とその家族等を対象に、英語・韓国語・中国語を話せる3名の嘱託職員を配置するとともに、翻訳システムを活用し、日常生活における相談に対応していく。 ②就学相談は、学校教育課と連携し不就学児童・生徒が生じないように努める。	①相談状況に応じながらアンケート調査を実施する。(0件) ②教育・進学相談等で教育委員会からの要請がある場合、通訳を行い、連携を図る。	①②英・中・韓 音声通訳アプリ(全10言語：英・中・韓・インドネシア・タイ・ベトナム・ミャンマー・ポルトガル・フランス・スペイン)	市民課	
		5	税・料の納付相談等	○外国人のための保険料納付相談。 甲府市在住の外国人においては、制度が理解できない為、保険料を滞納となるケースも出てきている。このため個々の世帯の生活状況に応じた納付指導を行っていく。	日本語が通じない場合は、市民課の外国人担当と連携して、個別に納付相談等に対応している。	英・中・韓	○外国人のための保険料納付相談 甲府市在住の外国人においては、制度が理解できない為、保険料を滞納となるケースも出てきている。このため個々の世帯の生活状況に応じた納付指導を行っていく。	翻訳システム等を活用し、市民課との連携を図るなかで、やさしい日本語で随時納付相談を行った。	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・他	国民健康保険課	
				○外国人のための保険料納付相談 甲府市在住の外国人も高齢化が進み、1号被保険者も増加しているが、制度が理解できない為、保険料を滞納となるケースも増加している。このため個々の世帯の生活状況に応じた納付指導を行っていく。	保険料を滞納者には、個々の世帯の生活状況に応じた相談、納付指導を行っていく。	英・中（簡）・中（繁）・韓・ポ・ス	○外国人のための保険料納付相談 介護保険制度が理解できない為、介護保険料を滞納するケースが生じている。このため、制度の理解を図り、個々の生活状況に応じた納付指導を行っていく。	25件	英・中・韓	介護保険課	
				○外国人のための保険料納付相談 甲府市在住の外国人においては、制度が理解できない為、保険料を滞納となるケースも出てきている。このため個々の世帯の生活状況に応じた納付指導を行っていく。	外国人の滞納者がいなかったため該当なし	—	○外国人のための保険料納付相談 甲府市在住の外国人においては、制度が理解できていないため、保険料が滞納となるケースがある。	外国人の保険料納付相談については、個々の世帯の生活状況に応じ、随時、担当課と連携を図り対応していく。	英・中・韓	高齢者福祉課	
○外国人滞納者への納税相談。 生活実態に応じた納付指導を行っていく。	○外国人滞納者への納税相談。 生活実態に応じた納付指導を行った。			英・中・韓・ポ	滞納者の日本語の理解度に応じてわかりやすい日本語の使用を行う。	納税相談（随時）	英・中・韓・ポ・ス	滞納整理課			
○外国人滞納者への納付相談 ※追加 生活実態に応じた納付指導を行っていく。	滞納者には個々の世帯の生活状況に応じた相談、納付指導を行った。	英・中・韓	○外国人滞納者への納付指導 やさしい日本語での対応を取りながら、各世帯の生活状況に応じた納付指導を行っていく。	やさしい日本語での対応を心がけ、個々の世帯の生活状況に応じた相談・納付指導を行った。	英・中・韓	住宅課					
○水道料金等の使用開始申込の促進【情報提供】 ※追加 給水区域内に転入した外国人へ向けて使用開始手続きを促進するチラシを配布する。 ※追加	転入時に外国人に対応した多言語チラシを水道検針時に配布する。	英・中・韓・ポ	○水道料金等の使用開始申込の促進 給水区域内に住む外国人向けに、使用開始手続きを促進するチラシを配布する。	無届で水道を使用している外国人に対し、水道契約の必要性を正しく案内することができた。	英・ポ・中・韓	営業課					

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	【当初】平成28年度実績			【現在】令和元年度実績			担当課
			具体的な内容等	R元年度事業実績 (R2.3月末見込)	対応言語	具体的な内容等	R元年度事業実績 (R2.3月末見込)	対応言語	
基本目標2 協働の促進	(6) 多文化共生に向けての社会参加促進	1 市政に対する意見等の促進	○市政への意見交換会等への参加促進 市内在住外国人が市政への意見交換に参画していく場について検討していく。	市政への参加促進を図ることのできる機会について検討を行う。	なし	○継続した情報の提供 市民課と連携し、やさしい日本語版や外国語版のチラシの配布を通じ、市政への意見制度について周知に努める。	「市長への手紙」や「市民の声ご意見箱」の制度について、やさしい日本語版のチラシを外国語版と併せて市民課へ設置していく。	英・中・韓	協働推進課
		2 防災・防犯活動への参加促進・意識啓発	○甲府市総合防災訓練（避難所宿泊訓練）への参加 防災訓練を通じ、災害時の外国人への対応と避難所運営について考える。また、訓練参加者とコミュニケーションを深めることで、地域防災力の向上を図る。	宿泊を伴う避難所運営訓練に16名の外国人市民が参加し、訓練参加者とコミュニケーションを深めることで、地域防災力の向上を図った。	なし	1 大学などの学生や市内に居住する外国人を対象とした防災講話を実施予定 2 甲府市総合防災訓練への参加を促す。	2月23日（日）に貢川団地に居住する外国人市民を対象に防災教室を開催する。	多言語	防災指導課
		3 多文化共生関連の講座・研修	○日本で生活する外国人のための日本語講座 山梨県立大学に委託し実施。	「日本で生活する外国人市民のための日本語・日本文化講座」を開催し、コミュニケーション能力の醸成を図った。 全15回（4講座／1回） 参加者 222人（延べ人数）	なし	○日本で生活する外国人のための「日本語・日本文化講座」を山梨県立大学に委託し実施する。	3クラス別に日曜日に開催している。（時間：13時～15時・受講料無料） 開催：20回（5/12, 5/19, 5/26, 6/9, 6/16, 6/23, 6/30, 7/7, 7/14, 7/28, 10/6, 10/20, 10/27, 11/17, 12/1, 12/8, 12/15, 1/26, 2/2, 2/9）	—	市民課
			【H29より】 ○日本語・中国語講座 外国人相談員が講師となり、日常会話を学習する。	自治会から要望のあった生活に密着した日本語や、日本文化（折り紙、書道）について学習した。	中	○「やさしい日本語サロン」（日本語・中国語講座） モデル地区住民が講師となる日常会話の講座を支援する。 （平成30年度から主催は地区、市は支援）	5回（6/16, 8/18, 10/27, 12/15, 2/16）開催 日本語と中国語（最多国籍）をメインに、昨年度から「やさしい日本語サロン」と講座名を変更し、日本語や中国語を中心とした表現の学習と地域住民と交流を図った。	英・中・韓	市民課
		4 留学生等に向けた合同企業説明会の開催	【H29より】 ○やさしい日本語会話・異文化体験サロン 外国人相談員が講師となり、日常会話・日本文化を体験する。	外国人相談員が講師となり、書道、折り紙、琴等の日本文化体験とそれに関する言葉を学習した。	英・中・韓	○「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」外国人相談員が進行役となり、日常会話・日本文化を体験する。 ①定期実施 ②今年度、本市に拠点をおく企業からの要請があり調整がつく場合は、企業へ出向いて実施する。 （試行・新規）	①8日（4/25, 5/16, 6/20, 7/6, 10/31, 11/14, 12/19, 1/31）計15回開催 昨年度より、参加しやすくするため、昼の部・夜の部の複数開催するとともに土曜日の開催（1回）を行った。 ②1回（11/21）参加者数17名	英・中・韓	市民課
						【H31より】 ○外国人（主に留学生）と市内企業の雇用にかかるマッチング機会を創出し、市内企業への就職を促進する。	「留学生・外国人向け合同企業説明会」を実施 日時：9月11日（水）14：30～16：30 場所 山梨学院大学 参加企業 12社 参加者 27名	—	雇用創生課
	(7) 多文化共生のための人材育成と人材活用	1 人材育成研修・講座の支援	○「やさしい日本語講座」の開催 一般財団法人自治体国際化協会から「やさしい日本語講座」講師を派遣にもらい、受講者が講師となり講座を開催する。	11月2日に、市役所職員を対象とした「やさしい日本語教室」を開催した。 参加者 33名	なし	○市役所職員のための「やさしい日本語講座」 外国人・日本人ともに分かりやすい日本語で接遇することを目標に職員を対象に実施する（隔年）	隔年の開催年に当たるため、自治体国際化協会地域国際化アドバイザー派遣事業を活用し、市役所職員を対象に市役所職員のための「やさしい日本語講座」を6月24日に本庁舎にて開催した。 参加者数：43名	なし	市民課
		2 多文化共生のための人材活用	○多文化共生リーダーの育成 外国人の集住の多い新田地区（貢川団地内自治会）の住民を多文化共生のリーダーとして育成していく。	情報活性化モデル地区における地域住民との交流や各種事業を通じ、多文化共生のリーダー候補者の発掘を行った。	中	○多文化共生リーダーの育成 「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」における各種体験等を通して多文化共生リーダーを育成していく。 ①定期実施 ②出張（試行・新規）	①8日（4/25, 5/16, 6/20, 7/6, 10/31, 11/14, 12/19, 1/31）計15回開催 第8回目の講座終了後に、多文化共生リーダーに賛同された方並びに国際交流課に配属された国際交流職員（フランス出身）と来年度の事業内容等について意見交換を行う。 ②1回（11/21）参加者数17名	英・中・韓	市民課
	(8) 日本語の学習・文化の学び	1 「日本語・日本文化講座」等開催情報の提供	○情報の提供 甲府市の各関係機関の窓口へ設置するとともに、転入者に窓口で配布する。	甲府市の各関係機関の窓口パンフレットを設置するとともに、転入者には市民課窓口で配布した。	英・中・韓・ポ・ス	○情報の提供 甲府市の各関係機関の窓口へやさしい日本語や多言語化したパンフレットを設置するとともに、様々な機会を捉えてPRする。	9月23日（月）甲府駅北口よっちゃばれ広場において初開催された「やまなしグローバルフェスタ2019」において、チラシを配布し情報の発信を行った。 配布数：160部 （チラシ：①外国人生活ガイドブック多言語版QRコード ②ごみ分別方法 多言語版QRコード ③わが家の防災 多言語版QRコード ④自治会加入について 多言語版QRコード ⑤やさしい日本語会話・異文化体験サロン 多言語版QRコード ⑥日本で生活する外国人のための日本語・日本文化講座） ・10月27日「第31回甲府大好きまつり」において出展名「多言語情報コーナー ～フェイスベントでお祭り気分～」として初出展し、チラシを各500配布した。 ①甲府市多文化共生プラン ②外国人生活ガイドブック 多言語版QRコード ③ごみ分別方法 多言語版QRコード ④わが家の防災マニュアル 多言語版QRコード ⑤自治会加入について 多言語版QRコード ⑥やさしい日本語会話・異文化体験サロン ⑦日本語・日本文化講座 ⑧マイナンバーまるわかりガイド ⑨マイナンバーを作ってみませんか	英・中・韓・ポ・ス	市民課
		2 図書館・公民館での日本語学習関連教材の充実	【H29より】 【情報提供】日本語学習関連教材一覧（一覧ファイル有） 関連教材の利用・貸出等	日本語教育のための関連書籍2点を購入し、蔵書の充実を図った。 ご要望の書籍については、内容を確認する中で購入に関する検討を行っている。	英・中等	【情報提供】 日本語学習に関連した所蔵資料の利用・貸出等	選書規準に照らし85冊の関連書籍を購入。	英・中 他	図書館

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	【当初】平成28年度実績			【現在】令和元年度実績			担当課
			具体的な内容等	R元年度事業実績 (R2.3月末見込)	対応言語	具体的な内容等	R元年度事業実績 (R2.3月末見込)	対応言語	
基本目標3 国際化への対応	(9) 国際交流の推進	1 姉妹・友好都市等との交流事業の推進	○姉妹・友好都市等との交流事業 国際親善の一環として、1958年(昭和33年)8月にアメリカ合衆国アイオワ州デモイン市、1961年(昭和36年)4月に同国カリフォルニア州ロダイ市、また、1975年(昭和50年)8月にフランス共和国アキテーヌ州ピレネー・アトランティック県ポー市、そして、1984年(昭和59年)9月に中華人民共和国四川省成都市と姉妹・友好都市の締結を行うとともに、2002年(平成14年)の9月には大韓民国忠清北道清州市と気兼ねなく交流が図れる友情都市を締結し、国際理解を深めている。	6月に、友好都市である中国成都市で開催された「市長イノベーションフォーラム」に参加をし、世界24か国、36都市とイノベーションと創業の政策などについて討論するとともに、トップセールスとして観光及び地場産品など、本市を積極的にPRした。また、10月と11月に、友好都市である中国成都市から政府代表団が来甲し、市長を表敬訪問するとともに、行政視察、市内視察を通して本市の行政システム、歴史や文化を学んでいたが、友好交流を深めた。	英・仏・中・韓	○姉妹・友好都市等との交流事業 国際親善の一環として、1958年(昭和33年)8月にアメリカ合衆国アイオワ州デモイン市、1961年(昭和36年)4月に同国カリフォルニア州ロダイ市、また、1975年(昭和50年)8月にフランス共和国アキテーヌ州ピレネー・アトランティック県ポー市、そして、1984年(昭和59年)9月に中華人民共和国四川省成都市と姉妹・友好都市の締結を行うとともに、2002年(平成14年)の9月には大韓民国忠清北道清州市と気兼ねなく交流が図れる友情都市を締結し、国際理解を深めている。	姉妹都市等からの依頼等に随時対応していくとともに、国際交流インフォメーションの充実を図る。	英・仏・中・韓	秘書課
		2 海外姉妹校児童・生徒との交流の推進	○姉妹・友好都市との交流 国際性豊かな視野の広い青少年の育成及び姉妹都市・友好都市との交流を図ることを目的として、姉妹都市デモイン市及び友好都市成都市との相互教育交流の一環として、海外研修派遣事業及び受入事業を実施している。 平成28年度は、デモイン市へ海外研修派遣団を派遣し、デモイン市及び成都市から教育交流派遣団の受入を行う。	国際性豊かな視野の広い青少年の育成及び姉妹都市・友好都市との交流を図ることを目的として、海外研修派遣及び受入事業を実施した。 ■成都市教育代表団受入 7/11~7/17 中学生22名、引率者6名 ■デモイン市教育交流派遣団受入 6/3~6/11 中学生22名、引率者5名 ■甲府市姉妹都市友好教育研修派遣(デモイン市派遣) 8/2~8/11 中学生24名、引率者3名	英・中	○姉妹・友好都市との交流 国際性豊かな視野の広い青少年の育成及び姉妹都市・友好都市との交流を図ることを目的として、姉妹都市デモイン市及び友好都市成都市との相互教育交流の一環として、海外研修派遣事業及び受入事業を実施している。 平成31年度は、デモイン市へ海外研修派遣団を派遣し、デモイン市から教育交流派遣団の受入を行う予定である。	○各校の学園祭等において派遣団が報告を行った。引き続き、国際性豊かな視野の広い青少年の育成、及び姉妹・友好都市との交流に努める。	英	学校教育課
		3 食の異文化交流会	○食の異文化交流会 外国人留学生と市民との、食を通じた異文化交流会	山梨県女性のつばさ連絡協議会「こうふ支部」と協議を重ねる中で、「食の異文化交流会」を年2回開催し、多くの外国人留学生と交流を深めた。 【開催日・料理名】 ■平成28年12月11日(日)開催：お雑煮、野菜の五目煮 ■平成29年3月18日(土)開催：ゼレシク・ポロ・バ・マージュ、クク(イラン料理)	なし	○食の異文化交流会 外国人留学生と市民との、食を通じた異文化交流会を開催する。 【開催日・料理名】 ■令和2年2月24日(月)開催：ほうとう 他	第2回目の「食の異文化交流会」を開催する	—	秘書課 (国際親交委員会)
		4 学生レポーター(留学生)による情報の提供	○留学生レポーターによるブログの発信 大学等(山梨大学・山梨学院大学・山梨県立大学・ユニタス日本語学校等)に在籍する留学生による情報発信をブログ形式で行う。ブログについては、記事を日本語と母国語で作成し、それぞれ掲載する。	留学生レポーター33名登録。 日本語と母国語でブログを作成しホームページに掲載。	留学生の言語による(英・中国・韓国・タイ・他)	○留学生レポーターによるブログの発信 市内大学等に在籍する留学生を留学生レポーターに委嘱し、日本語と母国語でブログ記事を作成し、情報発信していただく。 ○やさしい日本語対応に努める。	・今後、留学生レポーター向けに「魅力発見ツアー」を開催し、留学生の視点でのブログによる情報発信を行う予定。	留学生の対応できる言語	シティプロモーション課
		5 2020東京オリンピック・パラリンピック事前合宿推進事業				【H31より】 ○令和元年11月6日(水)~11月10日(日)に東京体育館で開催される「ITTFチームワールドカップ東京」にあわせ、フランス卓球連盟による市民との交流事業や合宿地の視察等を行う。 ○2020東京オリンピック大会に伴う、フランス卓球・レスリングチームの事前合宿地の受け入れを行う。	○年度内のフランス卓球・レスリングチームの事前合宿の予定無し	フランス語	国際交流課
		6 国際交流員の活用				【H31より】 フランス人の国際交流員による、放課後児童クラブ等での遊びによる異文化体験の実施。	令和2年2月3日甲府ロータリークラブ会員・2月7日甲府市立西中学校において、フランス文化について出前講座を実施予定	フランス語 英語	国際交流課
		7 留学生と高校生との交流会				【H31より】 市内4大学の留学生と市内高校生によるイベント等を通じた交流を行う。	同左	多言語	国際交流課

基本目標	施策	【当初】平成28年度実績				【現在】令和元年度実績				担当課								
		事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	R元年度事業実績 (R2.3月末見込)	対応言語	具体的な内容等	R元年度事業実績 (R2.3月末見込)	対応言語										
基本目標4	(10) まちなか情報の多言語化	1 公共施設・生活関連施設の多言語化促進	【H29より】 ※新規事業要望 多言語での外国人向け観光情報の発信 交通機関の表示方法を検討する。	山梨交通株、山交タウンコーチ株については、バス車両正面の行き先標示に、系統ごとに番号が表示されています。富士急山梨バスについては、表示されていないことから、観光行動を支援するため要望して参ります。	—	バス事業者に対し、引き続き行き先案内表示の取組状況を確認していく。	同左	—	交通政策課									
			○宝石の街甲府のPR「KOFU NO KIRAMEKI MAP」の作成配布 中心市街地のジュエリー関連店舗等を紹介するマップを作成配布。観光客等に中心市街地を回遊してもらい、活性化を図る。	昨年度から引き続き、掲載店舗や中心市街地に位置するビジネスホテル、また旅館協同組合を通じて、旅館等への設置を行った場所へ補充をおこなったり、イベント等でも配布するなど、外国人を含め観光客等に配布した。	英・中(繁・簡)	○宝石の街甲府のPR「KOFU NO KIRAMEKI MAP」の配布 中心市街地のジュエリー関連店舗等を紹介するマップを作成配布。観光客等に中心市街地を回遊してもらい、活性化を図る。	各イベント等において約900部配布を行った。 新たな多言語版のマップについて、サイズなどを検討し予算要求を行った。	中国語、英語	商工課									
			【H29より】 ○甲府市公共サイン計画の推進 甲府市が設置する公共サインにおける多言語表記と表記基準の統一化を図る。	甲府市が設置する公共サインにおける多言語表記と表記基準の統一化を図るために、現状把握を目的とした部局別の管理台帳を作成した。	英外	○公共サイン計画の推進 甲府市が設置する公共サインにおける多言語表記と表記基準の統一化を図る。	公共サインの整備重点エリア(仮)を選定し、エリア内の公共サインの管理台帳の精査とサインのランク分けを行う。	英語外	都市計画課									
		2 多言語での外国人向け観光情報の発信	①甲府駅観光案内所における多言語対応 駅構内の甲府市観光案内所を訪れる外国人観光客のサービス・利便性の向上を図ることを目的に、タブレット端末を用いた多言語による観光案内を行う。 ②インバウンド向けインターネット広告 訪日観光客の誘客を図ることを目的に、海外旅行者向けのウェブサイトへ本市観光情報を多言語化し、配信する。 ③海外プロガー招聘 発信力の高い海外プロガー(インドネシア人)を招き、SNSを通じて情報発信し、フォロワーへの情報拡散を図る。	①今年度は12月末現在で、1,695人の外国人を案内しており、昨年度の1,638人を上回って推移している。 ②本市の観光情報を、日本語を含む7言語(英語・中国・韓国・インドネシア・タイ・ベトナム)により本市の観光情報の発信を行った。 ③インドネシアから2名のパワーブロガーを招聘し、11月8日から11月11日の3泊4日で本市の主要観光施設を周遊して、本市の観光情報の発信を行った。	①英・中(簡)・中(繁)・韓・ス、ポ ②英・韓・中(簡)・タイ・ベトナム・インドネシア ③インドネシア語	【H31より】 外国人観光客の移動を円滑にできるよう、多言語(英語・中国語・韓国語)に対応した甲府市観光バスマップの作成・配布する。	①甲府市観光案内所における多言語対応 甲府市観光案内所において、英・中(繁)・中(簡)に対応できる職員による案内対応及び、無料Wi-Fiやタブレット端末(3社間通話や翻訳アプリ搭載)を活用し、外国人観光客の利便性の向上に努める。 ②インバウンド向けインターネット広告 現事業者の本事業の終了に伴い、新たな事業者または新たな情報発信手段を検討する。 ③JNTO(日本政府観光局) 平成29年度より加盟しているJNTOに対して、多言語による本市の観光情報を提供し、JNTOのSNS等で配信する。	同左	英語 中国語 韓国語	観光課								
											3 無料公衆無線LAN環境の整備促進	○無料公衆無線LAN(Wi-Fi)整備推進事業 市内を訪れる外国人観光客のサービス・利便性の向上を図ることを目的に、公衆無線LAN(無料Wi-Fi)の整備を推進する。	主要観光施設に設置したソリューション(3台)の維持管理を行うとともに、既存の光ステーションの設置台数を新たに50台設置した。	①ソリューション(3台)…日・英・中(簡)・中(繁)・韓、インドネシア ②光ステーション(50箇所)…日・英	○無料公衆無線LAN(Wi-Fi)整備推進事業 市内を訪れる外国人観光客のサービス・利便性の向上を図ることを目的に、公衆無線LAN(無料Wi-Fi)の整備を推進する。	Wi-Fiの周知及び整備を推進し、外国人観光客の利便性の向上を図る。	①ソリューション(主要観光施設4台)…日・英・中(簡)・中(繁)・韓、インドネシア ②①以外…日・英	観光課
		2 庁内連絡会議の設置	○甲府市多文化共生庁内連絡会議の設置 甲府市多文化共生推進計画2016に掲げた事業について協議、調整などを行い、着実な計画推進を図る。	甲府市多文化共生庁内連絡会議を昨年度に引き続き設置し、庁内連絡会議1回、ワーキンググループによる会議3回開催し、「甲府市多文化共生推進計画2016」事業の着実な推進に向け、事業の進捗状況等の確認を行った。また併せてb、多文化共生に係る補助制度の活用を説明した。	—	甲府市多文化共生庁内連絡会議の設置 「甲府市多文化共生推進計画2016」に掲げた事業の推進状況等について調査・研究を行い、着実な計画推進を図る。	①庁内連絡会議：1回(5/28) ②ワーキンググループ：2回(6/4、2/28)	—	市民課									
										1 情報拠点の整備	○情報発信拠点 各担当課や関係諸機関等が実施している多文化共生施策や活動の情報収集を行い、外国人相談窓口を外国人市民への情報発信拠点とする。	庁内連絡会議やメールで各担当者間の情報交換した。また、各担当者からの要望により多言語化した資料を作成した。	英・中・韓・ポ・ス	○情報発信拠点 各担当課や関係諸機関等と連携し、実施している多文化共生施策や活動の情報収集を行い、やさしい日本語や多言語化で外国人市民への情報発信拠点とする。	市ホームページ、フェイスブック、ツイッターにて情報を発信した。 発信回数：100回以上	英・中・韓・ポ・ス	市民課	
		2 地域拠点の整備	○情報活性化モデル地区の設置 外国人の集住が多い新田地区(貫川団地内自治会)をモデル地区とし、住民からの暮らしの相談など情報収集を行うとともに、暮らしに役立つ場報提供などを行う。	貫川団地内自治会を情報活性化モデル地区とし、地域住民暮らしの相談など情報収集を行う中で、防災教室やごみの出し方などの説明会を実施し、暮らしに役立つ情報提供を行った。	中	○情報活性化モデル地区の設置 外国人が集住している新田地区であるモデル地区に対して、地区の自主運営を支援していく。	①やさしい日本語サロン(日本語・中国語講座) 開催回数：5回 (6/16「絵手紙」、8/18「かけ飾り〜風鈴〜」、10/27消しゴムインを作る、12/15みんなで学ぼう!防災、2/16くす玉づくり) ②4記事(5/19青空診療所・青空市、7/27桜ヶ丘自治会夏祭り、12/15青空市、2/16青空市)	英・中・韓	市民課									
																		3 市民、ボランティア団体、関係機関等との連携